

<http://www.nins.jp/>

【お問い合わせ先】 株式会社クハ70
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
TEL:03-3238-1689 FAX:03-3238-1837
e-mail:nins@kuba.jp



$$N = N_* f_p n_e f_l f_i f_c f_L$$

知的生命の可能性

宇宙に仲間はあるのかⅢ

導入 10:00-10:20

機構長挨拶
佐藤勝彦 自然科学研究機構・機構長
趣旨説明 シンポジウム全体の趣旨説明
岡田泰伸 自然科学研究機構・理事、生理学研究所・所長

講演パート1 10:20-11:50

最近の成果と知見に基づいた天文学からの問いかけ
司会：岡田泰伸 自然科学研究機構・理事、生理学研究所・所長
地球型惑星の頻度とドレーク方程式
田村元秀 国立天文台・准教授
地球型惑星におけるバイオマーカー
藤井友香 東京大学大学院理学系研究科・博士課程
知的生命探査SETIとSKA時代への期待
平林 久 JAXA・名誉教授
昼休み(70分)

講演パート2 13:00-14:10

地球における知的生命とその進化
司会：観山正見 自然科学研究機構・理事、国立天文台・台長
地球上で脳はどうやって進化したのか
— 散在神経系から集中神経系への移行過程
阿形清和 京都大学・教授
生物のコミュニケーションの進化について
— 人類学的立場から(30分)
齋藤成也 国立遺伝学研究所・教授
休憩(20分)

講演パート3 14:30-16:15

地球における知とは何か、コミュニケーションとは何か
司会：岡田清孝 自然科学研究機構・理事、基礎生物学研究所・所長
知の始まり：脳・身体・環境
— 計算制約条件と、知のヒエラルキー
下條信輔 カリフォルニア工科大学・教授
社会的知：脳機能イメージング手法を用いたヒトの社会能力の解明
定藤規弘 生理学研究所・教授
知の未来：地球外知的生命体は自身の脳の解読と制御はできるのか？
川人光男 国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所・所長、ATRフェロー
休憩(15分)

パネルディスカッション 16:30-17:10

地球外知的生命探査における天文学・生物学・脳科学の役割
司会：立花 隆
佐藤勝彦、岡田泰伸、鳴沢真也(兵庫県立西はりま天文台・主任研究員)、
齋藤成也、下條信輔、川人光男

閉会 17:10-17:20

閉会の挨拶
観山正見 自然科学研究機構・理事、国立天文台・台長

※講演題目は全て仮題であり、講演者が変更する場合があります。

参加無料

〔東京会場〕

要・事前申込

申込は Web から
お願いいたします

〔愛知中継会場〕
申込不要

愛知会場は当日自由に
ご参加いただけます

〔東京会場〕

東京国際フォーラム(ホールB5)

東京都千代田区丸の内3-5-1

〔愛知中継会場〕

中継：岡崎コンファレンスセンター(大会議室)

愛知県岡崎市明大寺町字伝馬8-1

NINS

National Institutes of Natural Sciences

平成24年3月20日〔火・祝〕10:00-17:20